



## 1 連携で有為な人材育成へ



調印後の記念写真

本校への長年の入学実績を踏まえ、本校と県立土浦第三高等学校との連携調印式が同校会議室で2月6日(金)に開催されました。今後、両校が連携し、有為なIT人材育成を推進していきます。県立土浦第三高等学校の渡邊聡校長は「大学校との連携事業を推進し、本校生徒の学びの豊かさにつなげたい」と期待を膨らませていました。酒井雄一学校長は「高大連携で、次代を担う有為なデジタル人材を共に育成したい」と笑顔で話されていました。



調印式後の校内見学の様子

## 2 出張OC オープンキャンパス に向けて!



ロボットの動きを確認する学生



電子回路を制作する学生

本校の出張オープンキャンパスが、3月1日(日)にイオンモール土浦、7日(土)にイオンモール水戸内原で開催されます。気軽に楽しくITを体験することが出来ます。担当するのは、来年度、応用課程に進学する2年生21人(基本情報技術者)です。

現在、5つのIT体験(○ホワイトハッカーへの挑戦状、○プロジェクションマッピング、○ロボット・プログラミング、○VRでキャンパスツアー、○AIとジャンケン)を準備しています。

情報システムコース2年の富永さんは「どなたでも楽しめるように準備しています」、馬場さんは「電子回路も上手くできました。楽しく体験して下さい」と笑顔で話していました。

## 3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ>茨城新聞(2026年2月21日)

### 工業団地造成を加速

企業誘致、立地アピール

#### ●村澤伸哉さん(勝田工高卒)

◇要約: 県は、地域経済の発展や魅力的な雇用の創出に向け、成長分野など高付加価値な産業の誘致を図る。用地価格が他県より安価な点も強調している。

加えて、人材を輩出する情報・工学系の教育機関が充実していることもセールスポイントとしている。

◇感想: 企業誘致による工業団地造成で、県内の教育機関を卒業した我々エンジニアに期待がかかっている。

企業が求めている力に比べられるよう、情報テクノロジー-大学校で技術を吸収し、その力を企業で発揮していきたい。

#### ●浅井佑一さん(水戸平成学園高卒)

◇感想: 茨城県に先端技術を扱う新しい拠点ができ、そのアピールポイントとして情報テクノロジー-大学校が紹介されているのは非常に心強く感じる。

将来、新拠点での就職の可能性が高まったことで、大学校での勉強の励みになった。

#### ●廣木優香さん(水戸三高卒)

◇感想: グローバル企業の投資を機を逃さず取り込むことで、地域経済の発展に大きな影響を与えると考える。

また、立地の選定として、本大学校が紹介されている。こうした期待にどのように応えていくのが良いか、考えることが重要だろう。

#### ●内田蔵人さん(石岡商高卒)

◇感想: 製造業の企業が増え、IT系の大学校新設など、人材供給までをセットにして提案する戦略に、本県の本気度を感じた。

地価の安さを武器に、次世代半導体など成長分野企業を呼び込む姿勢は、地域経済に良い刺激になると感じた。

#### ●菱沼大清さん(多賀高卒)

◇感想: 工業団地の整備は、地域の人々に働く場所を増やし、若者の地元定着にもつながる重要な取り組みだと感じた。一方で、環境も大切だと思う。企業と地域が協力して長く発展できる町づくりを進めて欲しいと願っている。

